



平石 哲也 教授

## 平石 哲也 教授 略歴

### (学歴・職歴)

昭和	32年	12月	15日	神戸に生まれる
	51年	4月		京都大学工学部交通土木工学科入学
	55年	3月		同上 卒業
	55年	4月		京都大学院工学研究科交通土木工学専攻 進学
	57年	3月		同上 修了
	57年	4月		運輸省港湾技術研究所海洋水理部波浪研究室 研究官
	63年	4月		同 海洋水理部主任研究官
平成	9年	3月		港湾技術研究所水工部波浪研究室長
	13年	4月		独立行政法人 港湾空港技術研究所 海洋・水工部波浪研究室長
	20年	4月		同 海洋・水工部長
	22年	3月		同 辞職
	22年	4月		京都大学防災研究所流域災害研究センター 沿岸域土砂環境研究領域教授
令和	3年	8月		防災研究所地震津波連携研究ユニット ユニット長 兼務
	5年	3月		京都大学 退官

### (学会・委員等歴)

平成	11年	4月		国際海洋極地工学会議 (ISOPE) 学術委員 (継続中)
	31年	4月		新関西国際空港株式会社 台風21号越波等検証委員会 委員長 (令和1年9月まで)
	31年	4月		石川県土木部 千里浜再生プロジェクト委員会 委員 (令和4年3月まで)
	28年	4月		国土交通省総合政策局交通運輸技術開発推進委員会 委員 (令和4年3月まで)
	31年	4月		大阪府 大阪府河川整備審議会専門委員 委員 (令和3年3月まで)
	31年	4月		(一社) ウォーターフロント協会汚濁防止膜再利用カーテン引張強度評価制度 管理運営委員会 (令和5年3月まで)
	31年	3月		(一財) 港湾空港総合技術センター 関西国際空港浸水対策効果検証検討会 委員長 (令和2年3月まで)
令和	2年	6月		(一財) 港湾空港総合技術センター 関西国際空港防災機能強化対策事業効果検証検討会 委員長 (令和3年3月まで)

## 平石 哲也 教授 研究業績

### 論 文

- 1 Hiraishi, T. (2019): Tsunami Risk in Japanese Coast and Recent Mitigation Technique using Removable Breakwater, International Journal of Ocean and Coastal Engineering, Vol.2, Nos. 3&4, 1940002-1 – 1940002-9.
- 2 Tanaka K., Washida M., Nishiura Y. and Hiraishi T. (2020): Numerical Simulation of Storm Surge and Waves Caused by Typhoon Jebi in Osaka Bay with Consideration of Sudden Change of Wind Field, Journal of Natural Disaster Science, Volume 40, Number 3, pp.44-68.
- 3 Hiraishi T., Okutani T. and Iwata S. (2021): Effect of Coastal Sand Dune for Reduction of Tsunami Pressure on Seawall, Proceeding of the 31<sup>st</sup> Congress for International Society of Offshore and Polar Engineer, Vol.31.
- 4 Zhu B., Hiraishi T., Mase H., Baba Y., Pei H. and Yang Q. (2021) : A 3-D numerical study of the random wave--induced response in a spatially heterogeneous seabed, Computers and Geotechnics 135, 104159,18p.
- 5 平石哲也・米山望・馬場康之・森信人・東良慶・安田誠宏・間瀬肇(2011) : 宮城県沿岸における2011年東北太平洋沖地震による津波被災について, 土木学会論文集B2 (海岸工学) , 第67巻, pp.1306-1310.
- 6 平石哲也・森信人・安田誠宏・東良慶・間瀬肇 (2015) : 京都大学防災研究所津波再現装置の特性, 自然災害科学, 34-1, pp.15-21.
- 7 小野秀平・平石哲也・東良馨・半田英明・伊藤忠男(2018) : 河口水門の津波減勢工としての流起式可動防波堤の活用に関する模型実験, 土木学会論文集B2(海岸工学) pp.217-222.
- 8 バジル ノエルディン・平石哲也 (2019) : インドネシア国ベンガラリス島におけるマングローブ植樹による波浪低減効果, 土木学会論文集B3(海洋開発) 第44巻, pp. 247-252.
- 9 馬場康之・森信人・平石哲也(2022) : トンガでの大規模噴火後に田辺湾湾口部で簡素行くされた大気圧および水位変動, 土木学会論文集B2 (海岸工学), 78-2, pp. I\_163-I\_168.
- 10 飯干歩・平石哲也・浜田英外・森田章一(2022) : 可動式津波低減設備 “防波扉” の適用性の検討, 自然災害科学, 40-4, pp.453-464.

### 著 書 分担執筆

- 1 日本自然災害学会編 (2022) , 自然災害科学・防災の百科事典, 丸善出版, 777p.
- 2 財団法人沿岸技術研究センター {Tsunami}改訂版編集委員会 (2016) , 改訂版TSUNAMI—津波から生き延びるために—, 丸善プラネット, 323p.
- 3 財団法人沿岸技術研究センター(2004), 港内長周期波影響評価マニュアル, 沿岸技術ライブラリーNo.21, 86p.
- 4 日本自然災害学会(2002), 防災事典, 築地署館, 543p.

### 総 説

- 1 小笠原火山噴火に伴う軽石漂流およびトンガ海底火山噴火と津波被害への取り組み, 土木学会誌, Vol.107, No.11, November, 2022, pp.14-15.
- 2 達人の備え—海遊び 波のリスクに注意—, 読売新聞, 2022年, 7月26日朝刊.
- 3 対話集—京都大学防災研究所 地震津波連携研究ユニットを設立, 水道産業新聞, 2022年1月17日.